

事業名	高等学校学びの支援事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課
		実施期間	S27 ~	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるとの背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また、全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子供の減少は続く見通しである。 帰国子女や外国籍、障がい等により授業や日常生活に支障のある要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。 	30年度 決算額	967,519 千円
		職員数	17.74 人

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 長野県の高校教育として多様な学びと学びの仕組みを用意し、すべての高校が、これからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。 要支援生徒が在籍する高等学校において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。 <p>(主な実施内容: 高校改革 ~夢に挑戦する学び~ の推進、施設・設備等整備、特色学科の設置運営、要支援生徒の学びの支援など)</p>
------	---

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況				
	No	成果指標	29年度	30年度					
				目標値	成果	達成状況			
予算額	前年度繰越		64,153	0	611,922				
	当初予算		2,452,957	960,671	2,253,555				
	補正予算		-150,044	40,828	0				
	合計(A)		2,367,066	1,001,499	2,865,477				
Aの 財源	一般財源		694,432	604,816	854,242				
	県債		1,635,000	372,000	1,999,000				
	国庫支出金		37,629	24,680	12,031				
	その他		5	3	204				
決算額(B)		2,267,647	967,519						
概算 人件 費	職員数(人)		16.00	17.74	16.74				
	概算人件費(C)		129,632	145,787	137,569				
概算事業費(B(A)+C)		2,397,279	1,113,306	3,003,046					
①	高校改革 ~夢に挑戦する学び~ 実施方針の策定	実施方針(案)を公表	平成30年9月策定	平成30年9月策定			達成		
②	国際観光科に入学した生徒のうち、県外出身者の割合	52.94%	37.50%	38.46%			達成		
③	モデル校卒業者の地元就職率	H27年度末実績から平均6.0ポイント増	H27年度末実績から平均8.75ポイント増	H27年度末実績から平均8.25ポイント増			未達成		
④	県立高校空調設備整備校	-	設計委託25校	設計委託25校			達成		

備考	
成果指標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ①21世紀型学力の育成推進に向けて、高校改革 ~夢に挑戦する学び~ を計画的に実行するため、実施方針の策定期限を設定。 ②地域の観光産業を支え、発展させる人材育成を目指して、全国募集を行っていることから国際観光科入学生徒数に占めるの県外出身者率を設定。 ③地域産業界が求める人材育成を目指して、モデル校卒業者の地元就職率を設定。 ④令和元年空調設備設置校数に基づく設計委託数を設定。

目標に対する 成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ①目標どおり、平成30年9月に実施方針を策定した。 ②目標を上回る県外出身者の入学を達成することができた。 ③目標にはわずかに届かなかったが、事業実施3年間でモデル校卒業者の地元就職者数は確実に増加しており、事業効果は充分にあったと考える。 ④目標どおり、平成30年度内に設計委託を完了した。
-----------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課 題	今後の方向性
	<p>・日常生活に支障のある要支援生徒、定時制生徒、通信制生徒に対して、安心して高校生活を送るための適切な支援が求められている。</p> <p>・将来を見通すことが困難な時代のなかで、これからの社会を担う生徒たちには、自ら未来を切り開いていく勇気や新たな社会を創造する力を学びの中で培っていく必要がある。</p> <p>・生徒が安心して快適な高校生活を過ごすことができるよう老朽化対策、空調設備、洋式トイレ、実習・実験用施設等の整備・更新が必要である。</p>	<p>・要支援生徒等に対する支援を継続して行っていく。</p> <p>・県立高校における課題解決型の探求的な学びの導入型の「新たな学びの推進」と「再編・整備計画」に一体的に取り組む高校改革を進める。</p> <p>・県立高校の学習・生活環境の改善に取り組んでいく。</p>

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度
					(当初)	(決算)	(当初)
1		日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	帰国子女及び外国籍生徒等の生活を支援するため、関係校に支援員を配置(延べ1,030時間)	0.04	3,095	3,095	3,106
2		定時制課程運営費	特別支援教育支援員の配置 6校分、4名分(配置委託) 消耗品の購入及び設備整備 2校、教科書購入費補助16校	0.64	14,456	13,481	14,136
3		通信教育運営費	通信制生徒子弟等託児所保育士の配置 2校分、4名分 教科書購入費補助2校	0.12	1,589	1,109	1,515
4		高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費	理科教育設備整備、老朽設備の更新4品目(4校) 産業教育設備修繕、老朽設備の更新6品目(6校)、電子計算組織等のリース・運営・維持	1.00	270,407	269,101	270,649
5		特色ある学科設置事業費	再編施設整備に伴う代替施設使用料、新校舎への備品運搬費 高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施経費	8.44	131,801	125,583	136,433
6		初度調弁整備事業費	再編により施設整備を行う学校の初度調弁整備 1校	1.00	911	911	6,191
7		高等学校施設整備事業費	老朽校舎改築 4校	2.50	287,957	272,599	422,776
8		県立高校空調設備緊急整備事業	設計委託 25校	2.50	0	35,410	1,219,749
9		高等学校再編施設整備事業費	第1期長野県高等学校再編計画に基づき、再編統合を行った学校の施設整備 1校	0.50	204,612	204,612	0
10		地方創生のモデルとなる新しい高校づくり推進事業費	カリキュラム・コーディネーターの配置、生徒の全国募集活動、TT・高大連携授業の実施、学校運営協議会の設置・運営	0.50	6,987	4,818	0
11		学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業費	成長産業・基幹産業における人材育成…7校 コーディネーターの設置、カリキュラムの充実 地域の可能性を再発見する郷土人材育成…4校 ワークショップの開催、事業所視察、デパートサミットの開催	0.50	38,856	36,800	0
12		県立高校学習環境改善事業費	—	—	—	—	179,000
合計				17.74	960,671	967,519	2,253,555

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	高等学校学びの支援事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課					
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	30年度						
							29年度 当初（千円）	29年度 要求（千円）	30年度 当初（千円）	30年度 補正（千円）	30年度 決算（千円）		
15 03 01													
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	直接	生活支援相談員配置 24校 生活支援相談員配数 34名 生活支援相談員等従事時間数 1,030時間	生活支援相談員配置 24校 生活支援相談員配数 34名 生活支援相談員等従事時間数 1,030時間	計画通り ○	3,075	3,095	3,095			3,095	
2	定時制課程運営費	特別支援教育支援員配置事業	委託	支援員の配置 6校分、4名分（配置委託）	支援員の配置 6校分、4名分（配置委託）	計画通り ○	9,186	9,464	9,464				9,464
2	定時制課程運営費	消耗品費、備品購入費	直接	定時制課程運営にかかる消耗品の購入及び設備整備 2校	定時制課程運営にかかる消耗品の購入及び設備整備 2校	計画通り ○	467	626	626				376
2	定時制課程運営費	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助する。 16校	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助する。 16校	計画通り ○	4,514	4,366	4,366				3,641
3	通信教育運営費	通信制生徒子弟託児事業	直接	保育士の配置 2校分、4名分	保育士の配置 2校分、4名分	計画通り ○	839	829	829				606
3	通信教育運営費	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書等購入費を補助する。 2校	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書等購入費を補助する。 2校	計画通り ○	831	760	760				503
3	通信教育運営費	管理経費等	直接	通信教育運営にかかる消耗品の購入及び郵便料等	通信教育運営にかかる消耗品の購入及び郵便料等	計画通り ○	1,725	0	0				0
4	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費	理科教育設備整備	直接	整備率向上のための設備整備、老朽化した設備の更新4品目（4校）	整備率向上のための設備整備、老朽化した設備の更新4品目（4校）	計画通り ○	11,468	11,568	11,568				10,262
4	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費	産業教育設備整備	直接	・設備の整備のための修繕、老朽化した設備の更新6品目（6校）、電子計算組織等のリース・運営・維持	・設備の整備のための修繕、老朽化した設備の更新6品目（6校）、電子計算組織等のリース・運営・維持	計画通り ○	258,622	258,839	258,839				258,839
5	特色ある学科設置事業費	特色学科設置	直接	外部講師謝金、費用弁償、運営システムリース、外部実習委託	外部講師謝金、費用弁償、運営システムリース、外部実習委託	計画通り ○	130,600	148,682	129,833				124,333
5	特色ある学科設置事業費	高等学校再編に伴う準備・運営費等	直接	再編施設整備に伴う代替施設の使用料、新校舎への備品運搬費 高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施経費	再編施設整備に伴う代替施設の使用料、新校舎への備品運搬費 高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施経費	計画通り ○	38,939	3,419	1,968				1,250
6	初度調弁整備事業費	施設整備に伴う初度調弁整備	直接	再編により施設整備を行う学校の初度調弁整備 1校	再編により施設整備を行う学校の初度調弁整備 1校	計画通り ○	7,426	1,071	911				911
7	高等学校施設整備事業費	老朽校舎改築等	直接	実施設計及び建設・補修・除却工事 4校	実施設計及び建設・補修・除却工事 4校	計画通り ○	449,119	579,993	278,290				262,933
7	高等学校施設整備事業費	県立学校施設整備基金積立	直接	新規積立（旧飯田工業に係る有償譲渡分）、利息積立	新規積立（旧飯田工業に係る有償譲渡分）、利息積立	計画通り ○	5	9,667	9,667				9,666
8	県立高校空調設備緊急整備事業	県立高校空調設備整備	直接	設計委託 25校	設計委託 25校	計画通り ○						40,828	35,410
9	高等学校再編施設整備事業費	再編統合校施設整備	直接	第1期長野県高等学校再編計画に基づき、再編統合を行った学校の施設整備 1校	第1期長野県高等学校再編計画に基づき、再編統合を行った学校の施設整備 1校	計画通り ○	1,440,331	204,612	204,612				204,612

事業番号	事業名	高等学校学びの支援事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課			
15 03 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
10	地方創生のモデルとなる新しい高校づくり推進事業費	白馬高等学校国際観光科設置	直接	カリキュラム・コーディネーターの配置、生徒の全国募集活動、T T・高大連携授業の実施、学校運営協議会の設置・運営	カリキュラム・コーディネーターの配置、生徒の全国募集活動、T T・高大連携授業の実施、学校運営協議会の設置・運営	計画通り ○	5,581	6,987	6,987		4,818	
11	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業費	成長産業・基幹産業における人材育成地域の可能性を再発見する郷土人材育成	直接	コーディネーターの設置、カリキュラムの充実 7校 ワークショップの開催、事業所視察、デパートサミットの開催 4校	コーディネーターの設置、カリキュラムの充実 7校 ワークショップの開催、事業所視察、デパートサミットの開催 4校	計画通り ○	90,229	38,856	38,856		36,800	
合 計								2,452,957	1,282,834	960,671	40,828	967,519